

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

01 あなたの寄付でまちづくりを応援しませんか？



「高知市を良くしたい」「もっと楽しいまちにしたい」——その思いを寄付で応援しませんか。市では、皆さんからの寄付を活用して、幅広いまちづくり活動を支援しています。

公益信託高知市まちづくりファンド



18歳以上の方を対象に、高知市をより住みよいまちにするための市民の自主的なまちづくり活動を内容に応じてコース別に助成しています。



笑顔あふれる
地域イベント



みんなで健康
ウォーキング

こうちこどもファンド



18歳以下の子どもたちが自分たちで考え、取り組むまちづくり活動に上限20万円を助成。自主性・社会性・郷土愛の向上をめざしています。



地域のお祭りでの
ブース出展



ホテルを守る啓発看
板の設置

【問い合わせ】地域コミュニティ推進課 ☎ 823-9080

02 マイナンバーカードの申請サポート窓口を郵便局に開設



10月1日(木)から、マイナンバーカード交付申請書の記入支援、顔写真の無料撮影等の申請サポートを行う窓口を開設します(予約、本人確認書類不要)。なお、カードの受け取りは市役所本庁舎等となります。

開設場所▶高知朝倉西郵便局(朝倉西町1-9-7)、高知南郵便局(長浜675-2)、春野郵便局(春野町弘岡上84-2)

開設時間▶平日9時~16時(祝日、12/29~1/3除く)

【問い合わせ】中央窓口センター マイナンバー交付担当 ☎ 823-9455

03 新たにネーミングライツパートナーと愛称が決まりました



民間企業や団体等とのパートナーシップによる公共施設の維持・機能向上をめざして、公共施設等に愛称を付ける「ネーミングライツ」の取り組みで、新たに2つの公共施設等の「ネーミングライツパートナー」と「愛称」が決

めました。愛称は10月1日(木)から使用開始となります。全てのネーミングライツ導入施設の愛称・パートナーの一覧は財産政策課HPをご覧ください。

対象施設等	ネーミングライツ愛称	ネーミングライツパートナー
鷹匠公園	山善工務店 歴史の杜 鷹匠公園	株式会社山善工務店
高知市「消防音楽隊推進」事業	高知市消防音楽隊 with 愛宕病院	医療法人 新松田会

【問い合わせ】財産政策課 ☎ 802-5688



約280人の市内小・中学生が、高知市PRソング『潮騒の詩』を合唱する「未来へつなぐ高知のうた」プロジェクトの公開収録に臨みました。

DATE ■ 2026/8/23

PLACE ■ かるぽーと 四国銀行ホール

令和8年熊本地震災害義援金の募集

詳しくはこちら▶



令和8年7月28日に発生した熊本地震により被災された方々を支援するため、市民の皆さんからの義援金を義援金口座および市役所本庁舎1階の募金箱にて受け付けています。皆さんから寄せられた義援金は、日本赤十字社を通じて被災者支援に活用します。

高知市の人口と世帯

令和8年9月1日現在

人口(前月比) ▶ 30万5,774人(-227人)

男 14万3,097人(-119人)

女 16万2,677人(-108人)

増加 出生140人 転入等503人

減少 死亡320人 転出等550人

世帯(前月比) ▶ 16万3,558世帯(-106世帯)



おらんく 元気人! Vol.43

人とつながり、演劇をつくる



profile >>> 藤岡 武洋 Fujioka Takehiro (46)

高知市出身。NPO 蛸蔵の理事として多目的ホール「蛸蔵」の運営に携わる傍ら、平成26年に劇団「シアター TACOGURA」を旗揚げ。平成28年、利賀演劇人コンクールで『お国と五平』を上演し、四国初となる奨励賞を受賞する。

役者として舞台に立ち、演出家として作品を作り、舞台制作として劇団をサポートするなど長年演劇に携わってきた藤岡武洋さん。

藤岡さんにとって、大きな転機となったのは、障害のある方を含むさまざまな個性を持つ方や多様な立場の人々と共に『祝祭音楽劇 小さな星の王子さま』の上演を行ったことです。予算の確保が難しく、構想から上演までに期間を要したり、稽古ではこれまでの演劇の手法が機能しない場面があったりと、苦労したこともありましたが、「普段は演劇に関わってこなかった人と一つの作品を作ることができ、作る側にとっても、見る側にとっても、できあがった作

品はこれまでとは違った新しいものになりました。これからいろいろな人たちとつながって演劇ができれば」と語ります。

今後は退職したシニア世代や子育てが一段落した人々など、時間にゆとりが生まれ、新しいことに挑戦したいという情熱のある人たちに演劇ができる機会を提供し、一緒にお芝居をしたいと考えているそうです。

さまざまな人と心を通わせながら、表現の新しい地平を切り開くため、藤岡さんは今日も熱い情熱を胸に演劇と向き合い続けます。

▶舞台上で全力で役を演じる藤岡さん(中央)

